

令和8年7月23日

令和7年度 一般会計決算の概要

1 令和7年度一般会計決算のポイント

【歳入】

歳入は約1兆1,147億円で、前年度と比較し総額で約270億円の増となった。主な要因としては、個人所得の増や物価高の影響による府税の増、物価高騰対策や国勢調査などに伴う国庫支出金の増、地方交付税の増によるものである。

【歳出】

歳出は約1兆1,061億円で、前年度と比較し総額で約277億円の増となった。主な要因としては、物価高騰対策関係経費の増や高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増、参院選などの選挙関係経費の増によるものである。

➡ 引き続き社会経済情勢の先行きが不透明なことに加え、社会保障関係経費の増加などにより、厳しい財政状況が続く見通しである。

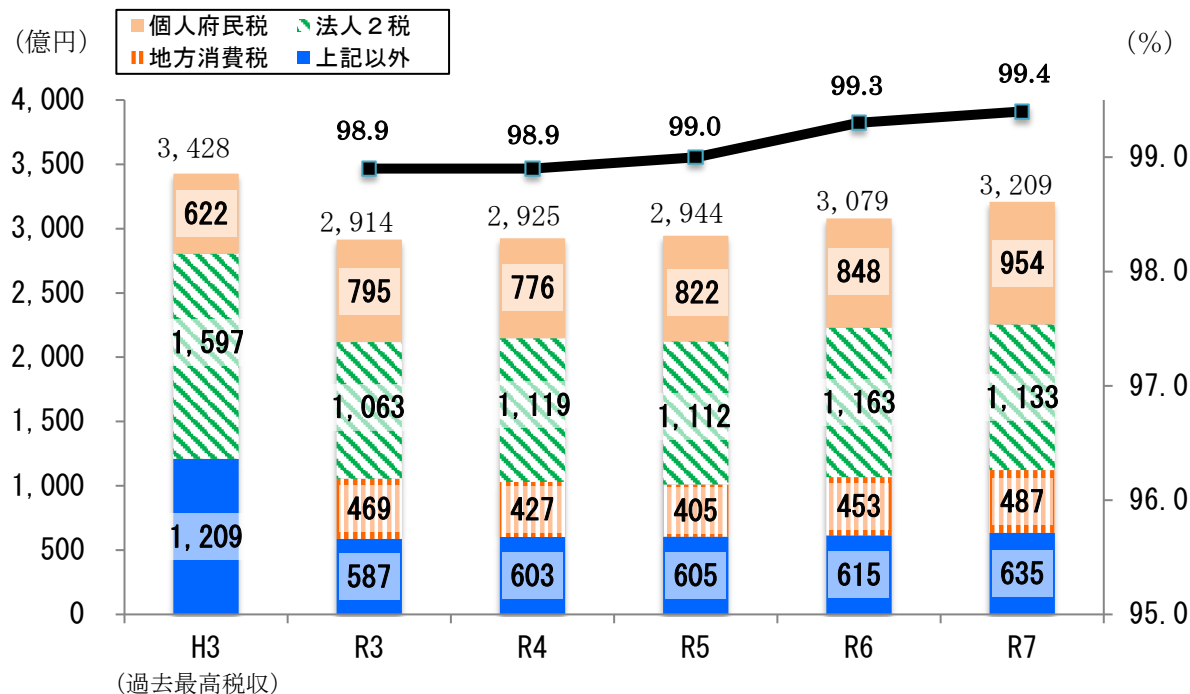
令和7年度一般会計決算収支

(単位：百万円、%)

	令和7年度	令和6年度	増減額	対前年度比
歳入総額 A	1,114,652	1,087,634	27,018	102.5
歳出総額 B	1,106,075	1,078,394	27,681	102.6
形式収支 C=A-B	8,577	9,240	▲663	92.8
翌年度に繰り越すべき財源 D	2,875	4,055	▲1,180	70.9
実質収支 E=C-D	5,702	5,185	517	110.0
前年度実質収支 F	5,185	13,183	▲7,998	39.3
単年度収支 E-F	517	▲7,998	8,515	-

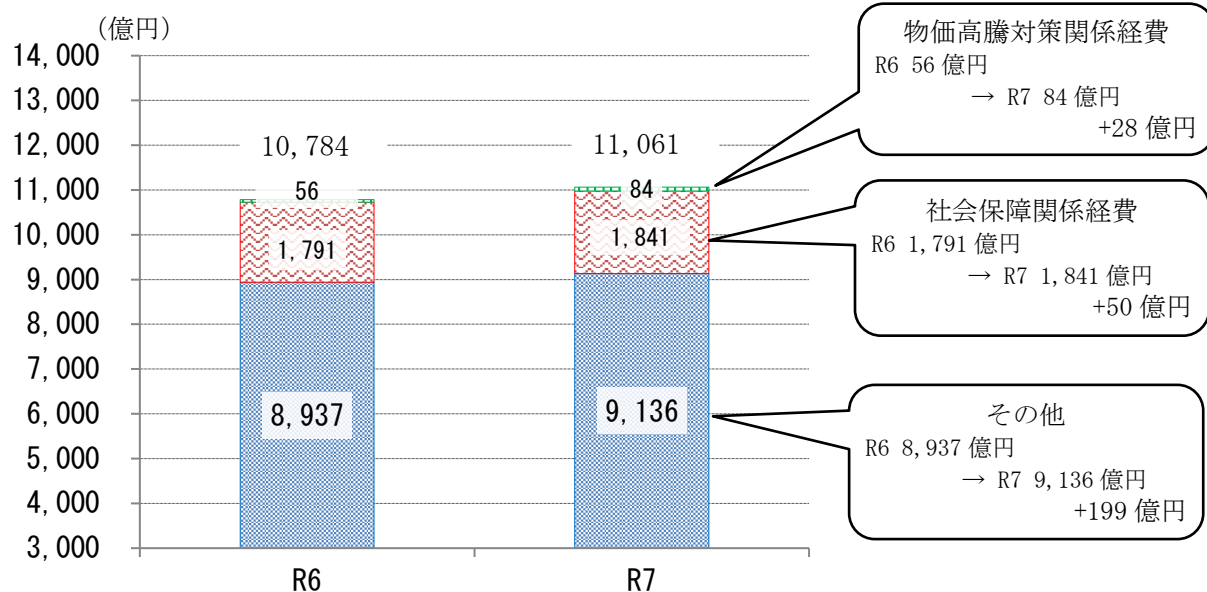
2 府税決算の状況

- ▶ 給与の伸び等による個人所得の増加や物価高等の影響を受け、個人府民税は約106億円、地方消費税は約34億円の増となった。総額は約130億円増の約3,209億円。
- ▶ 府税徴収率は、99.4%。（過去最高を更新）



3 歳出決算の状況

- ▶ 決算額は約1兆1,061億円で、前年度と比較し約277億円増。
- ▶ 物価高騰対策関係経費は医療施設等への支援金の支給などにより約28億円増。
- ▶ 社会保障関係経費は、障害福祉サービスに係る給付、高齢者医療等に係る医療費、保育サービスに対する負担金の増などにより約50億円の増。
- ▶ その他、地方消費税の増加に伴う清算金や市町村交付金、参院選などの選挙関係経費、国勢調査費、職員給与費の増などにより約199億円の増。



4 府債残高の状況

- ▶ 府債残高は、前年度から484億円減少

府債残高

R6末 2兆3,393億円 → R7末 2兆2,909億円

府民1人当たり府債残高

R6末 946千円 → R7末 927千円

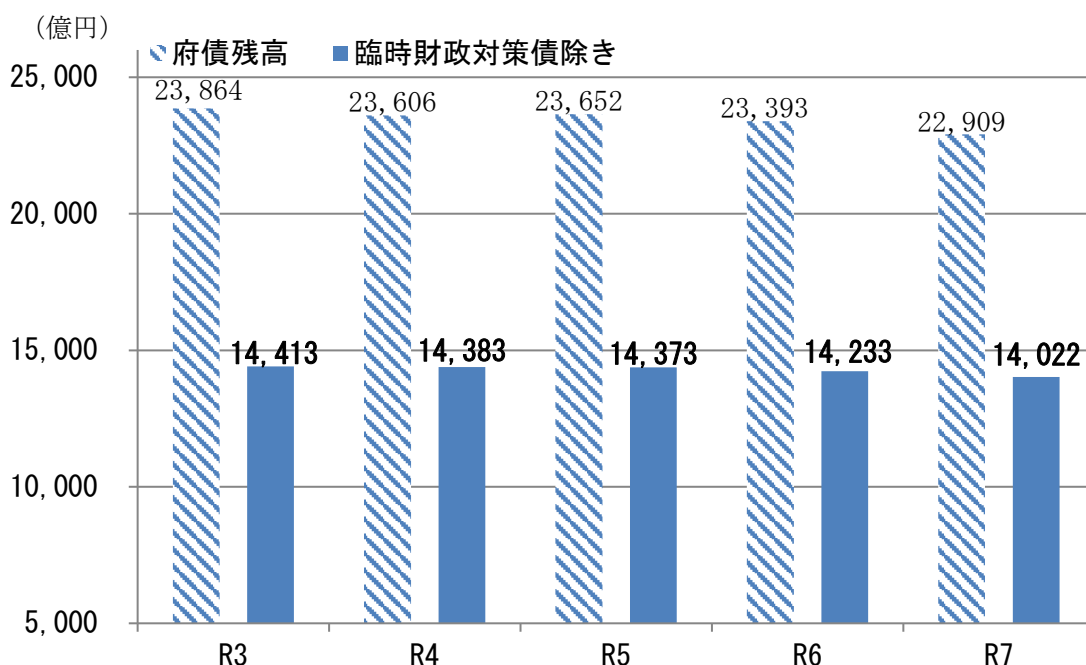
臨時財政対策債除く府債残高

R6末 1兆4,233億円 → R7末 1兆4,022億円※

※ 4年連続で残高が減少(▲211億円)

臨時財政対策債除く府民1人当たり府債残高

R6末 576千円 → R7末 567千円



5 財政調整基金の状況

- ▶ 基金残高は、前年度から約12億円増加

(単位：百万円)

令和6年度末 基金残高	令和7年度中		令和7年度末 基金残高
	積立額	取崩額	
1,487	2,597	1,390	2,694

【本報道発表に関するお問合せ】

総務部 理事 山崎 電話 075-414-4410



令和7年度の主な取組みと成果

全ての営みの土台となる「安心」

■安心できる健康・医療・福祉

全国初

京都府介護・福祉職場業務改善支援センターを開設

介護サービス事業所に加え、障害者施設や児童養護施設、保育所等までを対象としたセンターを開設し、事業所の業務改善を支援

【実績・事例】

- ・相談対応件数 94件
- ・ICT機器導入による、職員間の情報共有や応援体制が強化され、利用者対応への時間を確保、職員の時間外勤務の縮減にも寄与



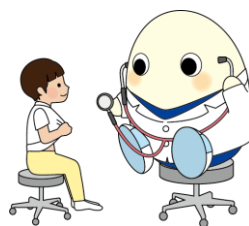
▲京都府介護・福祉職場業務改善支援センター
(京都市中京区)

京都府移行期医療支援センターを開設

小児期発症慢性疾患患者の円滑な成人診療科への移行と自立を支援するためのセンターを府立医科大学内に開設

【実績】

移行先の成人診療科として、128医療機関をリスト化



■災害・犯罪等からの安心・安全

災害に備え、T（トイレ）K（キッチン）B（ベッド）を確保

過去の災害を教訓に、避難生活の質の向上に向けた物資等を確保

【実績】

簡易ベッド：6,600台、パーティションテント：3,300張
簡易トイレ：30基、災害時の炊き出し支援に関する協定締結



▲パーティションテント

Be-Unitの体制拡充

自転車41台58名体制による取締活動の強化により、繁華街における巡回の機動力が大幅に向上



▲自転車取締小隊（Be-Unit）

子どもたちを育み、絆を守る「温もり」

■子育て環境日本一・京都

婚活応援センター開設10周年！「婚活フェス」等を開催

開設10周年を記念した「婚活フェス」をはじめとした「出会いイベント」や「AIマッチング」などにより、カップル成立を後押し

【実績】

- ・カップル成立数 9,591組（27～）
- ・成婚数 1,140組（27～）



▲婚活フェス（京都市下京区）

子育てにやさしいまちづくり推進交付金

市町村が策定する「まち全体で子どもを見守り支える」まちづくりを進めるための計画に対する支援を実施（支援市町村 宇治市・宮津市・八幡市・久御山町）

【久御山町での取組】

中学校の体育館を開放して、子どもからお年寄りまでが集い、ゲームやスポーツを楽しむ「よるのがっこう」を実施



▲みまきっこまんなか応援まちづくり～よるのがっこう～（久御山町）

京都市と連携し、妊娠等に関する相談窓口を一本化

京都市と相談窓口を統合し、若年層も活用しやすいようSNSによる相談体制も整備

【相談件数】 1,727件（R7.7～R8.3）



■誰もが活躍できる生涯現役・共生の京都

「京都府農林水産業人材確保・育成ネットワーク」を設立

生産者・企業・大学など分野を超えた連携により、府内の農林水産業の人材確保・育成に向けた基盤を整備

【キックオフイベント参加者数】 235人

■共生による環境先進地・京都

「KYOTO地球環境の殿堂」国際会議・未来会議を開催

京都議定書発効20周年を記念し、2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題について、「気候変動」等のテーマで議論等を実施

【来場者数】 約1,100人



希望や活力の源泉となる「ゆめ実現」

■未来を拓く京都産業

「BitSummit」を開催

京都市と連携し、ゲームクリエイターの育成支援及びゲーム大手メーカーとのビジネスマッチング等の場を提供するとともに、共同プロモーションを展開

【来場者数】 58,065人（@38,333人）



▲BitSummit（京都市左京区）

京都の半導体産業を世界へ

京都市と連携し、ビジネス情報等の交換の場である「半導体サロン」の開催や「SEMICON TAIWAN」への出展などにより、ビジネス機会拡大を支援

【実績】

半導体サロン参加企業数 145社

SEMICON TAIWAN京都ブース来場者数 推計3,000人以上



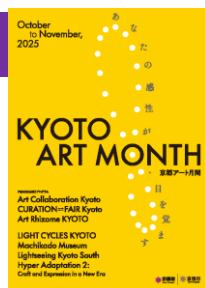
▲SEMICON TAIWAN

■文化の力で世界に貢献する京都

京都アート月間を展開

「Art Collaboration Kyoto (ACK)」と「CURATION⇔FAIR Kyoto」（京都市）の同時期開催など、府と市が連携し、市内のアートイベントを一体的に発信

【ACK来場者数】 30,414人（@23,100人）



▲京都アート月間

■交流と連携による活力ある京都

京都未来人材育成プロジェクト

地域や企業の課題解決に参加する学生や大学を公募し、学生・大学と地域・企業とのマッチングを行い、「学生×地域×企業」のプロジェクトを京都市と連携で支援

【採択プロジェクト数】 56件

■生活の基盤づくり

小倉西舞鶴線「白鳥トンネル」が開通

車両や歩行者の安全な通行が実現



▲白鳥トンネル（舞鶴市）



物価高騰対策



府民向け

●生活困窮者等物価高騰対策緊急生活支援事業

生活困窮世帯やひとり親家庭等に対し、ニーズに合わせた生活必需品等を支援

【実績】 支援件数 28,022件、交付金額 約98百万円

●きょうとこどもの城等特別支援事業

ひとり親家庭等の子どもの受け皿となる子ども食堂・こどもの居場所等に対し支援

【実績】 支援箇所数 498箇所、交付金額 約22百万円

●地域商業活性化・物価高騰対策事業

商店街等が行うプレミアム付き商品券発行の取組に対して助成

【実績】 交付件数 50件、交付金額 約173百万円

●LPガス価格高騰対策

LPガスの供給を受ける消費者の負担を軽減するため、LPガス料金の軽減を支援

【実績】 交付件数 267件、交付金額 約227百万円

事業者向け

●生産性向上・人手不足対策事業

生産性の向上等に向けた取組を実施する事業者への支援

【実績】 交付件数 717件、交付金額 約804百万円

●経営基盤強化推進事業

賃上げが可能となるような経営基盤強化に資する設備投資等に要する経費の一部を助成

【実績】 交付件数 102件、交付金額 約243百万円

●建設業人材確保対策支援事業

生産性向上に資する設備投資等に要する経費及び人材育成に係る研修費等を助成

【実績】 交付件数 236件、交付金額 約282百万円

●公共交通人材確保対策事業

バス等の二種免許取得に要する取組や生産性向上に資するデジタル機器の導入等を支援

【実績】 交付件数 36件、交付金額 約409百万円



大阪・関西万博

関西パビリオン京都ゾーンの出展

展示や体験・交流型のプログラムにより、「文化」「食」「産業」「環境」「いのち」「観光」の6分野で、多様な京都の魅力を発信

来場者数約53万人※

※関西パビリオン多目的エリアのイベント来場者と合わせた累計



▲ 関西パビリオン京都ゾーン
ICHI-ZA KYOTO

府内での主な取組

「EKIsport KYOTO」による周遊促進

エキスポ キョウト
京都の万博関連情報発信拠点としてEKIsport KYOTOを京都駅に設置し、イベント情報や各地域の魅力の発信により府内全域への周遊を促進

来場者数約15万人



▲ EKIsport KYOTO
(京都市下京区)

「けいはんな万博2025」の開催

けいはんな学研都市において、「未来社会への貢献～次世代への解～」をテーマに、「ロボット・アバター・ICT」など4分野で74のイベントを開催し、先端技術や歴史文化を体験できる場を提供

来場者数約20万人



▲ アバターロボットによる指揮
(精華町)

「きょうとまるごとお茶の博覧会」の開催

京都の茶文化を支える茶人や茶商、茶の生産者から茶器や茶道具、茶菓子の職人までが一緒になって、万博を契機に京都の茶文化を発信

来場者数約3万人※

※グランドフィナーレ



▲ 北野大茶会
～きょうとまるごとお茶の博覧会グランドフィナーレ～
(京都市上京区)

- オール京都で一体的にプロモーションなどを行うことにより、府内各地への誘客や交流を促進
- 関連イベントには、延べ345万人が参加